※事前にご確認ください※

本資料は、「クリーンアスリートガイド（国内レベルアスリート向け）」（冊子・電子版）に記載された内容（文字のみ）をワードファイル版としたものです。画像やイラストについては差し込んでいませんので、クリーンアスリートガイド（冊子・電子版）と一緒に読んでいただき、補助的な資料としてご活用ください。

本資料の情報は定期的に更新される場合があります。クリーンスポーツアスリートサイトから必ず最新版の資料を確認してください。

【クリーンアスリートガイド（国内レベルアスリート向け）】

本教材は、国内レベルアスリートやサポートスタッフを対象に「World Anti-Doping Code 2021」にもとづき、ジャダが制作しています。

発行：公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（ジャダ）。

スポーツ庁委託事業。

202202バージョン。

▶クリーンアスリートガイド1ページから2ページ

スポーツの価値を未来につなげる。

スポーツは、長い人類の歴史の中で、時代とともに、たくさんの人が関わり、形を変えながら社会に根付き、文化となり、時空を超えた人と人との想いをつないできています。

スポーツの未来は、他ならぬ私たち一人一人にゆだねられています。

あなたの心には、どんなスポーツの未来が描かれていますか？

あなたの一つ一つのアクションが、スポーツの未来を創っていきます。

あなたにとって、スポーツの「真なる価値」とは？その価値を、どのように未来につなげ、育んでいきたいですか？

あなたが思い描く未来を、学びを通じて、ともに創りあげていきましょう。

▶クリーンアスリートガイド3ページから6ページ

クリーンスポーツ・フェアネス・マップ：あなたのクリーンスポーツへの道。

スポーツの価値を未来につなげるため、あなたはどんなアスリートでありたいですか？

自分自身にとっては？

仲間やライバルに対しては？

スポーツのフィールドでは？

スポーツコミュニティに対しては？

自分のコミュニティに対しては？

社会全体に対しては？

スポーツの未来に対しては？

▶クリーンアスリートガイド7ページ：目次

本ガイドでは、アスリートとサポートスタッフのみなさんが、クリーンスポーツ環境でスポーツに参加するために必要な、AからGの7つのトピックスを説明しています。どのトピックスからでも学習を始められます。ただし、あなたのクリーンスポーツに参加する権利が守られるためには、この7つのトピックスを全て理解し、自らクリーンスポーツ行動をとれるようになることが必要です。

Aスポーツの価値・クリーンスポーツ環境のため。

　9ページから10ページ。

　クリーンスポーツの原則及び価値。

Bクリーンスポーツ行動・習慣化。

　11ページから14ページ。

　コードにおけるアスリート及びサポートスタッフの権利

と責務。

　15ページから16ページ。厳格責任の原則。

Cルール違反の項目。

17ページから26ページ。アンチ・ドーピング規則違反。

Dルールに違反したら。

27ぺージから30ページ。ドーピングの結果。

E健康を守るため。

31ページから32ページ。禁止されている物質と方法。

33ページから39ページ。薬の使用及び治療使用特例。

40ページ。サプリメント使用のリスク。

F自身がクリーンであることを証明。

41ページから42ページ。尿、血液及びアスリート・バイオロジカル・パスポートを含む検査手続き。

43ページから44ページ。居場所情報及びアダムスの使用を含む登録検査対象者リストの要件。

Gスポーツを守る・創る。

45ページから46ページ。ドーピングに関する懸念を共有するために、声を上げること（スピークアップ）。

47ページ。クリーンスポーツ・チェックリスト。

48ページ。逆引き辞典。

49ページ。スポーツの未来はあなた自身の手の中に。

▶本ガイドの見方

本ガイドは、アスリートやサポートスタッフのみなさんが、アンチ・ドーピングのルールを正しく理解し、クリーンスポーツ行動がとれるようになることを目的としています。各トピックスには目標（自身ができるようになること）が設定されています。学習前と学習後に、自身が現時点でできていること、できるようになったことをチェックしましょう。チェックが付いていない項目は、あなたがより理解を深める必要があるものです。クリーンスポーツ・アスリートサイトで、もう一度確認しましょう。

コード：世界アンチ・ドーピング規程（コード）の該当条項です。

▶基本的な用語の定義・解説。

* 【ADO】：ドーピング・コントロールの過程に関する規則を採択し、ドーピング・コントロールの過程の開始、実施、または執行に責任を負う組織をいう。ADOの中には、国際オリンピック委員会【IOC】、国際パラリンピック委員会【IPC】、その他の主要競技大会機関【MEO】、世界アンチ・ドーピング機構【WADA】、国際競技連盟【IF】、国内アンチ・ドーピング機関【NADO】（日本では【JADA】）もこれにあたる。
* 【JADA】：日本アンチ・ドーピング機構は、日本を代表する世界アンチ・ドーピング規程の署名当事者。ドーピング検査や教育の実施等、独立して日本のアンチ・ドーピング活動の推進を行い、スポーツの価値を守り育む組織。
* 【DCO】：ドーピング・コントロール・オフィサーの略。国際基準に則り、ADOにより研修・養成、認定された、アスリートから検体採取を行うドーピング検査員。
* 【ドーピング・コントロール】：検査の立案から、不服申立の最終的な解決や制裁措置の執行までの全ての段階及び過程のこと。検査、居場所情報提出、TUE、検体の分析、結果管理等が含まれる。
* 【サポートスタッフ】：スポーツ競技会に参加し、または、そのための準備を行うアスリートと共に行動し、治療を行い、または、支援を行うコーチ、トレーナー、監督、代理人、チームスタッフ、オフィシャル、医療従事者、親またはその他の人をいう。
* 【競技会時】：アスリートが参加する予定の競技会の前日の真夜中（午後11時59分）に開始され、当該競技会及び競技会に関係する検体採取手続きの終了までの期間のことをいう。